

事業 番号	事業名	事業概要		確定額 (千円)	事業区分
		事業実施により実現できた具体的効果・成果			重点等
	事業者名	実施地等			
		実施期間			
URL					

内25	第19回固体イオニクス国際会議	<p>リチウム電池や燃料電池等の環境に調和したエネルギー技術を主題の一つとして扱う、固体イオニクスに関する国際会議を開催した。</p> <p>講演や発表を通じて研究者・技術者間の国際的な研究交流を図るとともに、研究手法や測定法に関するワークショップ(講習会)を開催し、若手研究者の育成と発展を行った。</p> <p>本国際会議は、固体内のイオン伝導に関する基礎から応用までの幅広い分野について、物理、化学などの異なる様々な専門の研究者・技術者が参加して議論を行う場であり、本会議での議論は、今後、当該分野における学術・応用技術の両面での発展が期待される。</p> <p>また、国際的な研究交流の促進にも役立ったと考えている。</p> <p>今回の会議により、現在、社会的な要求の高い、全固体型Liイオン2次電池など、革新電池に使われる新材料の発表が行われたり、新しい計測方法についての議論が白熱したり、多くの知見を得ることができた。</p> <p>これらは、今後、発展が期待される電池や燃料電池の分野への寄与が大きく、日本の成長戦略にも正の効果をもたらしたと考えている。</p> <p>一方で、学問的に異なる分野間の情報の交換と共有の役割を果たした。</p> <p>この分野の若手の啓発を目的に行ったチュートリアルセミナーでは、インピーダンス測定などの基礎事項の確認ができ、若手以外にも好評であった。今後の実験精度の向上が行えた。</p> <p>本会議では、主にLiイオンなどの伝導体に関して新しい成果が報告され、革新型電池や燃料電池の性能の向上などが報告された。</p> <p>これらの成果は環境調和型エネルギー源として、今後の普及が期待されることから、本国際会議は環境問題に関して大きな寄与を果たし、環境問題へ効果があったと考えている。</p>	2,600	国際会議
	第19回固体イオニクス国際会議組織委員会	<p>【実施地等】京都</p> <p>【実施期間】2013/6/2～2013/6/7</p>		【重点事項 該当事業】
	http://www.ssi-19.net			